

平成30年 畑作・野菜病害虫発生情報 第9号

作物名：小麦（6月下旬）

赤かび病は平年より少ない発生ですが、収穫にあたっては事前に赤かび病の発生状況を把握し、罹病粒の混入が懸念されるほ場では、発生のないほ場と仕分けして、収穫・乾燥を行ってください。

1. 赤かび病（発生量：津軽地域…少ない、県南地域…少ない）

津軽地域では、発生地点率、発病穂率ともに平年より低かった。品種別では、「キタカミコムギ」と「ネバリゴシ」で発生が認められたが、発病穂率は0.1%以下と微発生であった。「ゆきちから」では発生は認められなかった。

県南地域では、発生地点率は平年並で、発病穂率は平年より低かった。品種別では、「ネバリゴシ」で少発生ほ場が1地点認められた。赤かび病に「やや弱」の「もち姫」は全地点が微発生であった。

赤かび粒混入限界は0.0%であるため、1万粒に罹病粒4粒程度を超えると流通できなくなる恐れがある。収穫にあたっては事前に赤かび病の発生状況を把握し、本病の多発により罹病粒の混入が懸念されるほ場では、発生のないほ場と仕分けして、収穫・乾燥を行う。

巡回調査における赤かび病の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)					発生地点率 (%)	発病穂率 (%)
				甚	多	中	少	微		
6月下旬	津軽	本年	38	0	0	0	0	15.8	15.8	0.003
		前年	39	0	0	0	20.5	66.7	87.2	0.076
		平年	38	0	0	0	7.0	27.5	34.5	0.028
	県南	本年	16	0	0	0	6.3	25.0	31.3	0.014
		前年	15	0	0	0	6.7	53.3	60.0	0.033
		平年	16	0	0	2.0	15.4	18.3	35.8	0.168
	県計	本年	54	0	0	0	1.9	18.5	20.4	0.006
		前年	54	0	0	0	16.7	63.0	79.6	0.064
		平年	53	0	0	0.5	9.7	23.5	33.7	0.063

注1) 発生程度別基準：甚 発病穂率31%以上、多 同11~30%、中 同1.1~10%、少 同0.1~1%、微 同0.1%未満。
注2) 発生程度別地点率の平年値は「微」の階層を採用した過去7か年の平均値。

（参考）赤かび病の品種別発生状況

地域	品種	調査地点数	発生程度別地点率 (%)			発生地点率 (%)	発病穂率 (%)
			中	少	微		
津軽	キタカミコムギ	19	0	0	15.8	15.8	0.004
	ネバリゴシ	9	0	0	33.3	33.3	0.003
	ゆきちから	10	0	0	0	0	0
県南	ネバリゴシ	13	0	7.7	7.7	15.4	0.009
	もち姫	3	0	0	100	100	0.033

注) 平年値は「キタカミコムギ」および「ネバリゴシ」は過去7か年、「ゆきちから」は6か年、「もち姫」は5か年の平均値。

2. アワヨトウ

津軽地域の複数のほ場で、アワヨトウの黒化型中齢幼虫が確認された。微発生がほとんどであったが、一部では中発生ほ場が認められた。発生の多いほ場では、畑作・野菜病害虫防除指導情報第6号（6月12日付）を参考に適切に防除する。



〔赤かび病発病穂〕

《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6 担当：佐藤、鎌田